

いちご栽培管理 (H31.1.)

(有) 丸 富

12月は曇天雨天が多く、日照不足で比較的暖かい天候だった。光合成が少ないので、全体的に軟弱徒長して果形や品質、着色が悪く、不適な天候になった。病害虫の発生は比較的少なかった。

ネズミ・害虫対策

近日点の満月頃は、着果負担や樹勢低下によって、ダニなどが盛んに繁殖する。害虫の動向に注意する。

ネズミ・害虫対策は灌水時に**バイオアクト TS** を **50~70 cc/10a** 混用する。(5~7日毎に)

着色促進

日照不足時は根から養分吸収しにくいので、葉面散布で光合成促進して養分吸収を助ける。

着色促進に**笑顔 1,000 倍(又は天地の恵み 500 倍)**と**サンミネーラ 10,000 倍**を随時、葉面散布する。

灌水での着色促進に**笑顔 100 cc(又は天地の恵み 200 cc)/10a** と**サンミネーラ 50 cc/10a** を灌水する。

肥大促進

太陽の働きが弱い時はKや微量元素を吸収しにくいので、転流効率を向上させて効果を引き出す。

肥大促進に**K-40 250g/10a** と**サンミネーラ 50~100 cc/10a** を1ヶ月に2回灌水する。

病害対策

曇天雨天が続くと多湿状態になり、かび類の病害が多発する。光合成を促すように、1日1回は朝換気を行い、湿気を抜き空気を乾燥させる。ミツバチは湿度を下げると、温度が低くても元気に働く。

光合成促進に**笑顔 1,000 倍(又は天地の恵み 500 倍)**と**サンミネーラ 10,000 倍**を葉面散布する。

緑化促進と病害抵抗性強化に**サンミネーラ 1,000~3,000 倍**を3~5回、葉面散布する。

品質(食味)向上

株が生殖生長している時は、花粉が多くきれいに受粉する。また、食味も生殖生長で向上する。但し、生殖生長状態が続くと、樹勢低下の恐れがあり、成り疲れや病害虫の発生を引き起こすことがある。

電照で生育をコントロールする場合、出蕾したばかりの果梗が30~45°になるくらいに点灯する。

品質(食味)向上に**天地の恵み 200~500 cc(又は笑顔 100~200 cc)/10a** と**サンミネーラ 50~100 cc/10a** を7~10日毎に灌水する。 ※バイオイングリーンを施用の場合は0.5~1 kg/10a

追肥(液肥)

できる限り少量多回数に分けて追肥する。施用量は土質、樹勢、環境などによって加減する。

プロ液肥	5~7ℓ/10a	} 5~7日毎に灌水する場合 ※状況に応じて加減する
天地の恵み(又は時を越えた贈り物)	200~300 cc/10a	
サンミネーラ	50~70 cc/10a	
バイオアクト TS	50~70 cc/10a	

※サンミネーラの代わりに、シカアップ 100 cc、海藻のエキス 50 g、イローグリーン(微量元素) 300 ccでもよい。

ご注文やお問い合わせは、

有限会社 丸 富 TEL (0942) 65-0123

FAX0942-65-1091 (24時間受付)

携帯 090-3328-7603 (富松まで)